

**全国高校野球選手権記念**  
**青森大会**

◇第4日

第100回全国高校野球選手権記念青森大会第4日は12日、八戸市長根、青森市営、青森県営、六戸町メイブルの4球場で1、2回戦の計11試合を実施した。県南勢は野辺地、六戸、六ヶ所による上北連合が黒石にサヨナラ勝ちを取って初戦を突破。田名部は八戸東を1点差でかわ

し、八戸北は大湊川内に大勝した。シード校の八学光星、三本木も初戦を飾り、3回戦進出。大湊は青森商にワールド負けを喫した。  
13日は調整日のため試合は行わない。14日は4球場で、2回戦計8試合を実施する。(取材班)



# 光星ワールド発進

【八学光星―八戸工】初回八学光星2死、長南佳洋が本塁打を放ち先制する一長根

先制。六回には、3連続四死球で得た1死満塁の好機に、矢野の適時打で点を追加するなど4塁まで、勝利を手中とした。八戸工は四回に鈴木俊の適時打で1点を返すにとどまった。

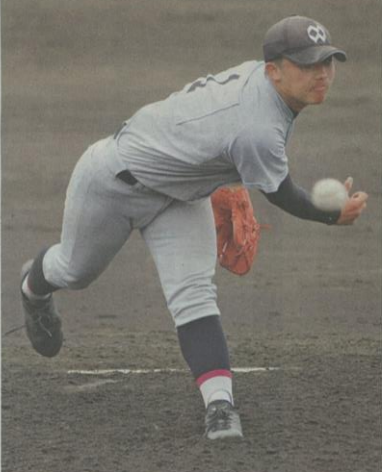
八学光星・長南佳洋主将「初回に右越え本塁打」  
「初打席で長根投手の好投を見て、スタンドまで行ったのは大きい。自問してやっていた」と

## 八工後半崩れる

○今季の県大会まででワールド負けを喫した。ある八学光星の強力打線が、攻撃では全固で得点の狙いに、「打たせて取る」作戦だった。2点を返す4回、1で逃した八戸工。五回まで、死三塁で打順が回った際、たけだけ、光星相手に粘った。スコアに抑え込んだ。投手陣が崩れたチャンス、1点でも取れば良かった。

八学光星	八戸工
1	0
2	0
3	0
4	2
5	0
6	0
7	0
8	0
9	0
10	0
11	0
12	0
13	0
14	0
15	0
16	0
17	0
18	0
19	0
20	0
21	0
22	0
23	0
24	0
25	0
26	0
27	0
28	0
29	0
30	0
31	0
32	0
33	0
34	0
35	0
36	0
37	0
38	0
39	0
40	0
41	0
42	0
43	0
44	0
45	0
46	0
47	0
48	0
49	0
50	0

## 野西 本塁遠く



【青森山田―八学野西】3回途中から登板し、2安打無失点に抑えた八学野西の久保田大隆＝青森市営

青森山田	八学野西
1	0
2	0
3	2
4	0
5	0
6	0
7	0
8	0
9	0
10	0
11	0
12	0
13	0
14	0
15	0
16	0
17	0
18	0
19	0
20	0
21	0
22	0
23	0
24	0
25	0
26	0
27	0
28	0
29	0
30	0
31	0
32	0
33	0
34	0
35	0
36	0
37	0
38	0
39	0
40	0
41	0
42	0
43	0
44	0
45	0
46	0
47	0
48	0
49	0
50	0

## ロングリリーフ 3回途中から無失点 久保田「集大成出せた」

○1序盤に3点を奪われた八学野西。三回、1死、三塁のピンチで登板したのは主戦の久保田大隆だった。三塁のピンチをしのいだ後、青森山田打線が安打に抑える好投で、最後まで投げ切った。「最後の仲間を信じ投げた。今までの集大成を出せた」と振り返った。

一方、坂本主将は守備で頑張ったの攻撃で返せなかったと悔しがった。相手投手を最後まで捉えることができなかった。

「(久保田)の活躍があったが、このメンバーで野球できて良かった。後援は甲子園に行きたい」と願いを託していた。

5安打に抑えて奇跡した。回を無四球完勝1回八学野西七回まで運持。球を長く、上回を死、好機をくるが、得点に直。直が長く、上回を死、びつけられなかった。(一塁の)ピンチも無で切り抜けた。

青森山田・堀田慎一「(久保田)の活躍が良かった」